

## 第1回基本制度ワーキングチームの検討課題

子ども・子育て新システムの基本制度案要綱（抄）平成22年6月29日 少子化社会対策会議決定

### 基本設計

子どもの育ち・子育て家庭を社会全体で支えるため、市町村（基礎自治体）が制度を実施し、国・都道府県等が制度の実施を重層的に支える仕組みを構築する。

事業ごとに所管や制度、財源が様々に分かれている現在の子ども・子育て支援対策を再編成し、幼保一体化を含め、制度・財源・給付について、包括的・一元的な制度を構築する。

実施主体は市町村（基礎自治体）とし、新システムに関するすべての子ども・子育て関連の国庫補助負担金、労使拠出等からなる財源を一本化し、市町村に対して包括的に交付される仕組み（子ども・子育て包括交付金（仮称））を導入する。

給付の内容は、以下の2種類とし、すべての子どもと子育て家庭のニーズに応じて必要な給付を保障する。

- (1) すべての子ども・子育て家庭を対象とした基礎的な給付
- (2) 両立支援・保育・幼児教育のための給付

### 1 国・都道府県の役割

国は、新システムの制度設計を担うとともに、市町村への子ども・子育て包括交付金（仮称）の交付等、制度の円滑な運営のための必要な支援を行う。

都道府県は、広域自治体として、市町村の業務に関する広域調整や市町村に対する情報提供など、市町村における制度の円滑な運営のための必要な支援を行うとともに、子ども・子育て支援施策のうち、都道府県が主体となって行う事業を行う。

### 2 市町村の権限と責務

市町村は、国・都道府県等と連携し、新システムの下で、現金給付と現物給付の組合せ（配分）や給付メニューの設定（選択）など、自由度を持って地域の実情に応じた給付を設計し、以下の責務の下で、当該市町村の住民に新システムのサービス・給付を提供・確保する。

- 必要な子どもにサービス・給付を保障する責務
- 質の確保されたサービスの提供責務
- 適切なサービスの確実な利用を支援する責務
- サービスの費用・給付の支払い責務
- 計画的なサービス提供体制の確保、基盤の整備責務

## 国、都道府県、市町村の役割

### 【市町村の責務】

子ども・子育て支援のサービス・給付（基礎給付、両立支援給付等）に関する市町村の責務のあり方

サービス・給付の保障、計画的な提供体制の確保

市町村によるサービス・給付のニーズの的確な把握

- ・ 足元のニーズ（潜在的なニーズを含む）の的確な把握
- ・ 働き方の多様化、女性の就業率の上昇などに伴う将来的なニーズの把握

市町村が計画的に提供体制を確保するための法的な枠組み（計画策定と計画に基づく提供体制の確保 等）

市町村の責務を果たすため、国・都道府県が市町村を支援するための役割の整理

質の確保されたサービスの提供、適切なサービスの確実な利用の支援

必要な子どもに適切なサービスが確実に利用できるようにするための市町村が果たす役割

質の確保に関して市町村が果たす役割（事業者に対する指導監督等）

市町村の責務を果たすため、国・都道府県が市町村を支援するための役割の整理

#### 【国・都道府県の責務】

国・都道府県の市町村への重層的な支援

国

- ・ 市町村等に対して行う制度の円滑な運営のための支援のあり方（制度設計、交付金の交付 等）

都道府県

- ・ 市町村の業務に関する広域調整のあり方（入所の広域調整等）
- ・ 市町村に対する情報提供など、市町村における制度の円滑な運営のための支援のあり方
- ・ 都道府県が主体となって行う事業について 等